

「LED」専科

第6号

2013年1月9日発行

【 特集：LED照明導入における注意点及び選び方 】

第5号で記載致しましたが、現在、数多くのメーカーにより多種多様のLED照明機器が開発製品化されています。

国内での開発製造においてはコストが掛る為、主に韓国、台湾、中国で生産されている製品が多数出回っております。

国内ブランドと云われる製品でも部品は韓国、台湾、中国で生産輸入されたもので、国内で組み立てられた製品も多く、これらは国内メーカーブランド製品として販売されております。又、韓国、台湾、中国で製造された完成品を輸入し、国内ブランドとして販売しているメーカーも多々あり、これらはLED照明に限った事ではなく、他の製品でも多くみられる事です。従って、ブランド名で製品の良し悪しを見極めることは非常に難しい市場環境にあると言えます。

LED照明の導入における注意点及び選び方のポイントを示しますが、ご不明の場合は、当研究会にお問い合わせください。

1. 設置場所にマッチした製品か？

国内では明るさのみを追求する事が重要な要素と捉えている事も多く、必要以上に明るい製品を取付けている場合が多々あります。必要な明るさの仕様を詳細に決めることにより、より省エネを促進する事が出来ます。

2. 適正な購入価格か？

イニシャルコストが安いことは購入者としては重要な要素ですが、機器を長期間使用して行くことを考えると、ランニングコストへの配慮が最重要検討項目になります。

3. 業者選定に問題はないか？

業者により製品説明や販売の仕方もまちまちで、ユーザーにとって選択技が増える事は好ましいことですが、ユーザーが良し悪しを見極めるのは難しい場合があります。従って、業者選定も大きなポイントとなります。

【照明豆知識コーナー】

LED照明器具の効率

LED照明器具の効率には、LEDパッケージ（LED素子）の発光効率とモジュール効率および総合効率があり、効率の単位は、全て【lm/W】です。

白色LEDパッケージの発光効率は、2008年時点で100【lm/W】まで向上しております。ちなみに白熱電球は15【lm/W】程度ですので、十分高いレベルになっています。

パッケージ発光効率から電源部及び温度上昇による損失を引いたのが、LEDモジュール効率、更に照明器具として、照明の質を上げるために使用する反射レンズなどの損失を引いたものが、総合効率です。

昼白色LEDダウンライトの総合効率は80【lm/W】レベルになっております。

メーカーのカタログ、特にモジュールや一体型照明器具には、総合効率が記載されています。

また、総合効率は、日本照明器具工業会では固有エネルギー消費効率と定義しています。

..... 広報「LED専科」発行予定

広報7号（2月）研究会企画LED照明・・・（その1）

広報8号（3月）研究会企画LED照明・・・（その2）

..... 広報発行は毎月第1週金曜日を予定しております

静岡県環境ビジネス協議会の「LED省エネ推進研究会」は毎月定例会を行っております。LED省エネ推進、その他の省エネ推進に関心のある方の参加を歓迎致します。参加をご希望の方は、下記研究会事務局までご連絡ください。

※LED照明導入検討でお悩みの方は、お気軽に当研究会に御一報下さい。

第七回定例会は以下で開催致します。

日時：平成25年1月29日（火）13：30～16：00

場所：静岡市清水区相生町6-17 静岡市清水産業情報プラザ 3F会議室2

第八回定例会は2月26日（火）13：30～16：00 上記場所で開催予定しております。

【本広報は、静岡県環境ビジネス協議会HPの「お知らせ」に掲載されております】

LED省エネ推進研究会

連絡先：055-941-7830 花島・細川

発行：静岡県環境ビジネス協議会「LED省エネ推進研究会」